

《東日本大震災で被災された皆様へ》

このたびの東日本大震災で、お亡くなりになられた方々に対しまして、心からのお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々には、心からのお見舞いを申し上げます。

昨年引き続き 交通信号工事士**678**人生まれる

過日実施された「交通信号工事士技能検定試験」の結果が発表されました。今回は、実務経験の豊富な方が多数受験していただきましたおかげで、678人の方が合格されました。誠にありがとうございます。

ごあいさつ

副理事長 大塚勝弘



((株)都市交通テクノロジー
代表取締役)

協会会員の皆様におかれましては、今年も押し迫り、残すところ20日を切り年末の忙しい日々をお過ごしのことと思います。

今年度(平成24年)の当協会の活動は3月に三重県警察様と『災害時における交通安全施設の復旧に関する協定』を締結いたしました。

6月には第2回目の『第2種交通信号工事士技能検定試験』を実施し、第1回分を合わせて1,500名あまりの『交通信号工事士』が誕生いたしました。また、『技術講習会』も開催し、併せて『施工ハンドブック』の編纂も着実に進行しております。

これらのテーマに支援して頂いている各委員会の会員の皆様には、社業の実務をこなしながら時間を割いての活動ですので、大変なご苦勞をおかけしております。

皆様の交通信号工事の施工技術及び施工品質の向上への情熱と、誇りを持って働ける職場環境づくりへの熱意には敬意を表します。

来年はこれらの活動を全国ベースに広げ、現在各委員会で活躍されている会員の方々と全国の協会会員の皆様とのコミュニケーションを諮ることにより、当協会が主力事業としているテーマ(技能検定制度、各県警様との災害協定の締結、会員の技術能力向上の為の技術講習会の開催、施工ハンドブックの作成と活用)を協会会員皆様のものとして浸透させるべく、働き掛けをしたいと思っております。

会員の皆様方におかれましては、交通安全施設である社会インフラ構築により世の中に貢献できる事業体へと育て上げられるよう、これらの協会活動に積極的に関わって頂きますよう、また全会員でこの業界を盛りたてて頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

年末にあたり、来年が皆様にとってより良い年でありますよう祈念申し上げます。

施工ハンドブック

平成23年8月、協会内に「施工ハンドブック編纂委員会」を立ち上げ、「施工ハンドブック」の製作に着手し、現在鋭意製作中であります。

「施工ハンドブック」は、信号工事全般に関する技術等を網羅し、信号工事士のバイブルとして位置付けられ、信号工事士の座右に置き、常に利用されるものとなるような内容になることを目標としています。

その内容は、

- 第1章 安全管理
- 第2章 施工技術
- 第3章 施工管理
- 第4章 交通工学
- 第5章 補足資料

で構成されています。

完成は、平成25年秋を目標としていますが、困難を極めています。皆様の温かいご支援をお願いします。

全信工は、平成24年3月15日に三重県警察と「災害時における交通安全施設の復旧対策に関する協定」を締結しました。この協定の趣旨は、今後数十年以内に発生するであろう南海地震に備えて、発生後、速やかに災害復旧がなれるようその環境を整えようとするものです。先ず大綱を作り、その後実施要項を作成しようとするものなのです。

今回、第二回防災会議が平成24年9月27日、三重県警察交通部交通管制センターで開催されました。大西管制補佐の司会進行で始まり、交通規制課長の挨拶の後、全信工技能講習会講師である倉田英郎氏の「大震災に備えて」の講演がありました。

講演内容については、南海地震の発生メカニズム、地震発生予想、中央防災会議の2003年と2012年において発表した地震規模等の内容の相違、古市広報委員長



小松交通規制課長

発生時の被害予想、事前対策等についてでした。

その中でも特筆すべきは、大震災が発生した場合三重県内の工事業者の大半は水没、交通管制センターも水没、災害時に発動発電機が1階に設置してある施設については、発動発電機が水没するため照明はもとより警察無線も不通になる虞がある。また主要幹線の信号機を復旧するためには数十億円の費用が必要であると訴えていました。

次に、荒井交通規制総務係長から緊急通行車両等事前届出書を平時に警察署へ申請してもらえれば、緊急時には直ちに通行許可証が発行される趣旨の説明がありました。また、警察の対策本部の設置場所については、伊勢サンアリーナや津メッセウイングが検討されているとの説明がありました。

続いて、河合管制担当補佐から県内の安全施設の現状と今後の震災対策への事業計画についての説明、災害発生時における全信工との協定履行についてのお願がありました。

その後参加者での討議があり、

- 事前に担当区域の指定
- 復旧本部の設置場所の選定
- 情報収集手段
- 発動発電機の信頼性、給油の確保、県警への貸し出し
- 被災信号機の早期の仮復旧、運用方法、早期の給電対策、現示データの管理
- 制御機の防水機能の強化
- 災害訓練の実施

等の問題点が抽出され、これらの問題点については、今後の防災会議で順次話し合われることとなりました。

なお、出席者は以下の方々です。(順不同、敬称略)

三重県警察本部交通規制課長、交通管制官、施設担当補佐、規制担当補佐、管制担当補佐、規制総務係長、全信工理事、オムロンソー

シャルソリューションズ(株)、コイト電工(株)、日本信号(株)、アサヒ電設(有)、大岳電気工業(株)、オムロンフィールドエンジニアリング(株)、(株)シンコーワ、東海信号(株)、(株)日本総合施設、三重日信電子(株)、ミナモト通信(株)、(株)メイエレクト



平成25年度第2種交通信号工事士技能検定実施要領(特例措置期間を1年間延長)

交通信号工事士技能検定制度を創設し、平成23年度・24年度と特例措置(受験条件として会員限定)として実施してきました。その結果会員のご理解のもと、受講者数が多数となり、その後も新会員の加入等で受験希望が多数寄せられております。

このため、平成25年度は昨年同様特例処置として実施することとしますので、多くの方が受験していただくようお願いいたします。

1 受験条件

- (1) 全信工に登録されている会員企業の役員及び職員並びに個人会員であること。
- (2) 交通信号施設工事に関する業務に2年以上の実務経験を有すること。

2 試験日程

- (1) 受験申込受付期間:平成25年 3月 1日(金)～平成25年 3月22日(金) (当日消印有効)
- (2) 受験地・開催日

地区	関東地区	関西地区	福岡地区
受験地	東京	大阪	福岡
試験日	6/13(木)	6/14(金)	6/19(水)

地区	北海道地区	東北地区	北陸地区		中部地区	中国地区	九州地区
受験地	*札幌	*仙台	*金沢	*新潟	*名古屋	*岡山	*鹿児島
試験日	6/11(火)	6/12(水)	6/25(火)	6/26(水)	6/18(火)	6/21(金)	6/20(木)

*印の受験地は、受験者数の状況により試験会場として設置されない場合があります。また、各受験地会場で収容できる人数を超えた場合、他の受験地で受験していただく場合があります。

*印の受験地での受験を希望される方は第二希望として、東京、大阪、福岡の試験会場を指定してください。

3 試験科目

- 一般共通試験 出題数は40問以上で、試験方式は四肢択一方式
- 実技筆記試験 試験範囲は、講習会テキストを中心に出题

4 試験日時間割

講習会 13:00～15:50
 学科試験(一般共通及び実技筆記試験) 16:00～17:00

5 受験料

8,500円(講習会用テキスト代1,000円、消費税を含む)

叙勲受章

理事長が瑞宝中綬章を叙勲

平成24年秋の叙勲受章において、当協会の理事長である丹下正彦氏が警察功勞により「瑞宝中授章」を叙勲されました。理事長は、昭和17年愛知県の生まれ、昭和41年警察庁入庁、平成7年警察庁情報通信局長を最後に定年退職されました。

氏の功績は大きく、中でも三重県警察本部長時代、天皇皇后両陛下の伊勢神宮御参拝、皇太子殿下のご成婚による伊勢神宮参拝等1年間に3回もの警衛、警護を事故なく無事完遂されたこと、また平成7年発生の阪神淡路大震災時の災害警備、その2ヶ月後に発生したオウム真理教事件捜査等に従事されました。



お問合せ先

〒110-0015 東京都台東区東上野1丁目21番4号
 一般社団法人全国交通信号工事技術普及協会事務局
 TEL:03-3835-1740 FAX:03-6675-4475
 URL:<http://www.tscta.jp> E-mail:info@tscta.jp

環境にやさしい社会づくりをめざして
交通信号機の保守・工事に取り組んでいます



明日の信頼を形つくる「人の力」

Minatsu

ミナト通信株式会社

MINATSU, LTD.



本社 〒244-0803 神奈川県横浜市戸塚区平戸町559番地6号 0Kビル2F
TEL. 045/8242150 (代表) FAX. 045/8242989
<http://www.minatsu.co.jp>

情報化社会を支えるメンテナンスサービスを通じて、安全で快適な都市空間づくりに貢献します。

進化を続ける情報システムは、企業はもちろん人々にとっても、現代社会における活動基盤を形作る重要な要素となっています。日信電子サービスは、こうした情報システムを支えるメンテナンスサービスをトータルに提供する「サービスインテグレータ」として、人々が安全で快適に暮らせる社会環境づくりに貢献しています。

交通システム分野



道路事情がもたらす交通問題の解決を目指し、交通管制システム設計およびメンテナンスの領域から参画しています。

AFC分野



駅構内のさまざまな駅務機器およびシステムをサポートしています。

駐車場機器分野



安心で快適な街づくりの為にさまざまなニーズに応える保守サービスを行っています。

鉄道信号分野



世界に誇る日本の鉄道信号保安システムが円滑に稼動するための保守サービスを行っています。

情報機器分野



安心で快適な街づくりの為にさまざまなニーズに応える保守サービスを行っています。

Ⓢ 日信電子サービス株式会社

〒131-0045 東京都墨田区押上 1丁目1番2号
東京スカイツリーイーストタワー15F
電話 03-5637-2460 (代表) FAX 03-5637-2461
HP [URL:http://www.open-nes.co.jp/index.html](http://www.open-nes.co.jp/index.html)